

べた基礎底盤と基礎梁が欠落・鉄筋量が不足

年度 2004年完成(2009年調査)
 場所 千葉県柏市
 構造 木造枠組壁工法
 階数 3階
 延べ面積 133㎡
 用途 併用住宅(診療所)

瑕疵の特徴

1. 基礎伏図記載の基礎梁(FG3)とべた基礎底盤(FS1)の施工が欠落している。
 (図1、2-赤枠内)
2. 構造計算の結果が基礎伏図に反映されなかったため、べた基礎底盤(FS1)の鉄筋量が不足する施工が行われた。(図2)

図1

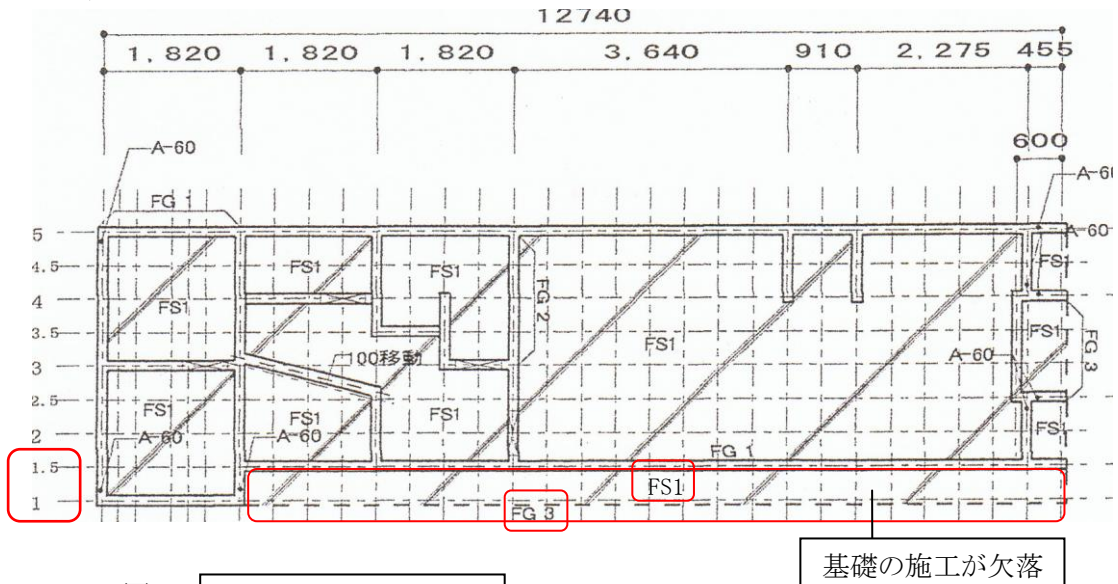
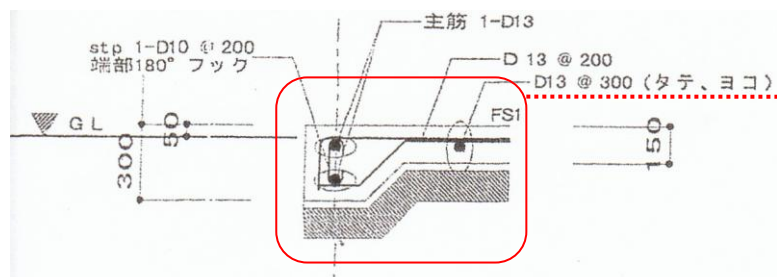


図2 FG3・FS1 詳細図



解説

当該建物は、狭小間口の3階建て、1~1.5通り間は2・3階がオーバーハングしている。このオーバーハング部分の基礎が欠落したまま建物が完成している。また、構造計算によるべた基礎スラブ(FS1)の鉄筋間隔は、両方向共D-13@150mmであるが、基礎伏図にD-13@300mm(タテヨコ)と誤って記載したため、べた基礎スラブの鉄筋量が不足するという問題を引き起こした。